

# 運命の人はあなたのそばに！？

～バレンタインデーにちなんで～



2月14日はバレンタインデーです。あちらこちらで、チョコレートを中心にバレンタイン商戦が活発です。最近では、オフィスなどで配る「義理チョコ」に加えて「自分チョコ」を求める女子たちが多くなってきているようです。しかしバレンタインといえば主役は本命チョコ。みなさんも様々な思い出をお持ちではないでしょうか。

今回は国立社会保障人口問題研究所の出生動向基本調査より恋愛・結婚について調べてみました。

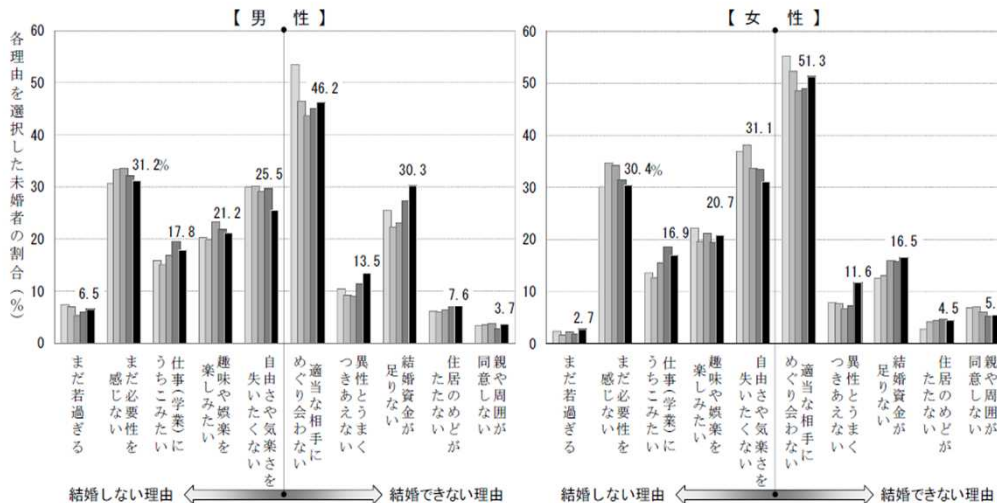
調査別みた、未婚者の異性と交際の状況(全国)

異性と交際の状況	男性						女性					
	第9回調査(1987年)	第10回調査(1992年)	第11回調査(1997年)	第12回調査(2002年)	第13回調査(2005年)	第14回調査(2010年)	第9回調査(1987年)	第10回調査(1992年)	第11回調査(1997年)	第12回調査(2002年)	第13回調査(2005年)	第14回調査(2010年)
婚約者がいる	2.9	3.2	2.9	2.7	2.9	1.8	4.6	3.9	3.8	3.9	4.8	3.1
恋人として交際している異性がいる	19.4	23.1	23.3	22.4	24.3	22.8	26.2	31.6	31.6	33.1	31.9	30.9
友人として交際している異性がいる	23.6	19.2	15.3	11.3	14.0	9.4	25.4	19.5	15.9	12.4	12.9	11.9
交際している異性はいない	48.6	47.3	49.8	52.8	52.2	61.4	39.5	38.9	41.9	40.3	44.7	49.5
不詳	5.5	7.2	8.7	10.9	6.6	4.6	4.3	6.3	6.8	10.2	5.7	4.6

(注) 対象者:18歳～34歳未婚者

未婚者の異性と交際の状況を見ると、男性の61.4%、女性の49.5%が交際している異性がないという結果になりました。第9回調査以降の推移を見ると、交際している異性がない未婚者の割合は増えていく傾向にあります。

調査別・年齢別にみた、独身にとどまっている理由(25～34歳)



さらに未婚者に独身でいる理由を尋ねたところ、25～34歳の年齢層でみると、「適当な相手にめぐり合わない」とする割合が最も高くなっています。同時に「自由さや気楽さを失いたくない」「まだ必要性を感じない」と考える人も多く、結婚への積極的理由がないことがうかがえます。

独身も気楽で良いよねと思いつつ、どう相手と出会ったらよいかかわからないといったところでしょうか。



注:未婚者のうち何%の人が各項目を独身にとどまっている理由(三つまで選択)として挙げていたかを示す。グラフ上の数値は第14回調査の結果。設問「あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を最高三つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください(すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄に12を記入してください。)

調査別みた、夫と出会うきっかけの構成

調査年次	総数	恋愛結婚							見合い結婚	その他・不詳
		職場や仕事で	友人・兄弟姉妹を通じて	学校で	街なかや旅先で	サークル・クラブ習いで	アルバイトで	幼なじみ・隣人		
第8回調査(1982年)	100.0%	25.3%	20.5	6.1	8.2	5.8	-	2.2	29.4%	2.5%
第9回調査(1987年)	100.0	31.5	22.4	7.0	6.3	5.3	-	1.5	23.3	2.7
第10回調査(1992年)	100.0	35.0	22.3	7.7	6.2	5.5	4.2	1.8	15.2	2.0
第11回調査(1997年)	100.0	33.5	27.0	10.4	5.2	4.8	4.7	1.5	9.7	3.1
第12回調査(2002年)	100.0	32.9	29.2	9.3	5.4	5.1	4.8	1.1	6.9	5.2
第13回調査(2005年)	100.0	29.9	30.9	11.1	4.5	5.2	4.3	1.0	6.4	6.8
第14回調査(2010年)	100.0	29.3	29.7	11.9	5.1	5.5	4.2	2.4	5.2	6.8

注:対象は各調査時点より過去5年間に結婚した初婚どうしの夫婦。見合い結婚とは出会いのきっかけが「見合いで」、「結婚相談所」での結婚。第8,9回調査は「アルバイト」を選択肢に含まない。集計客数:第8回(1,298)、第9回(1,421)、第10回(1,525)、第11回(1,304)、第12回(1,488)、第13回(1,076)、第14回(1,136)。恋愛結婚・見合い結婚の構成変化については付表1(巻末)を参照。

では現在結婚されている夫婦の出会いや結婚にいたるきっかけは何だったのでしょうか。

夫婦が出会ったきっかけについてみると「友人・兄弟姉妹を通じて」「職場や仕事で」がそれぞれ29.7%、29.3%と圧倒的に多く、ついで「学校で」11.9%となっています。これら上位3つのきっかけが全体の約6割を占め、日常的な場での出会いが多数を占めています。

恋愛のカギは日常生活のなかにひそんでいるということでしょうか。

夫婦が最終的に結婚を決めたきっかけ:第14回調査(2010年)

妻の結婚年齢	(複数回答)									
	(1) 結婚資金の用意が	(2) 経済的・生活基盤がため	(3) 相手自分の仕事事情	(4) 暮らせるだけ早く一緒に	(5) 時年齢的に感じたら	(6) ができるだけ早く子ども	(7) 子どもができた	(8) 友人たち同年代結婚	(9) 親や周囲のすすめ	(10) その他
25歳未満(260)	5.0%	8.5	4.6	28.1	24.6	5.8	50.0	1.9	5.8	3.5
25～29歳(484)	5.2	12.6	12.8	22.7	53.9	7.2	12.4	3.1	6.0	5.4
30～34歳(275)	2.5	12.0	11.6	19.3	57.8	8.7	11.6	2.2	9.5	6.2
35歳以上(117)	2.6	12.0	8.5	30.8	55.6	8.5	6.0	1.7	9.4	9.4
総数(1,136)	4.2	11.4	10.2	23.9	48.3	7.4	20.2	2.5	7.1	5.5

注:対象は第14回調査時点より過去5年間に結婚した初婚どうしの夫婦。

設問:「あなたご夫婦が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。次の中からあてはまる番号を二つまで選んで○をつけてください。」選択肢は表中(1)～(10)。

最後に夫婦が最終的に結婚を決めたきっかけを見ると、妻の25歳未満の夫婦では「子供ができた」ことを挙げた夫婦が最も多く、半数を占めています。25歳以上では「年齢的に適当な時期だと感じた」が半数を超えています。

結婚にはやはりタイミングが必要だと考えられます。

いずれは結婚したいという人は、まずは隣の席のあの人に話しかけてみてはどうでしょうか。意外にも、その人が運命の人かもしれませんよ。